

Week of December 1, 2024 - Everything is Yours　　Small Group Lesson 9

知り合う

初めて自分にとって大切なものを手に入れた時のことを覚えていますか？もしかすると、それまでは、誰かから借りたり、業者からレンタルしたりしていたものを、ついに自分のものとして持つことになったのかもしれません。それは自転車や車、家といったものであったかもしれませんし、携帯電話やジャケット、初めての聖書といったもう少し小さなものであったかもしれません。その物を最初はどのように扱いましたか？時が経つにつれて、不注意や経年劣化によって、それが少し傷ついたり壊れたりしても、最初ほど気にしなくなった理由は何だと思いますか？

聖句　コリントの信徒への手紙　第一 3:18-23（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

18誰も自分を欺いてはなりません。あなたがたの誰かが、自分はこの世で知恵ある者だと考えているなら、知恵ある者となるために愚かな者になりなさい。19この世の知恵は、神の前では愚かなものだからです。／「神は知恵ある者を／その悪だくみによって捕らえる」20と書いてあり、また、／「主は知っておられる／知恵ある者の議論が空しいことを」とも書いてあります。21ですから、誰も人間を誇ってはなりません。すべては、あなたがたのものです。22パウロもアポロもケファも、世界も、生も、死も、現在のものも、将来のものも、すべてあなたがたのものです。23そして、あなたがたはキリストのもの、キリストは神のものなのです。

簡潔に状況をもう一度確認してください。そのことは、どのように励ましや挑戦、慰めなどを与えますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

１：パウロは『誰も自分を欺いてはなりません』と言います。これは、どのような意味でしょうか？私たちは、自分の霊的成長について、どのように自分で自分を欺くことがあるのでしょうか？（18節）

２：『この世の知恵』が私たちの生活や教会の中に現れる例にはどのようなものがありますか？どうすればそれらの世俗的な影響を見分けて拒むことができるでしょうか？（19-20節）

３：すべてが『私たちのもの』、つまり信徒のものとされているとは、どのような意味でしょうか？これはキリストに属することとどのように関係していますか？（22-23節、エペソ1:11-12参照）他に関連する聖書の箇所が思い浮かびますか？

分かち合い

今週のメッセージの中のたとえについて話し合いましょう。

武牧師は、ローマの信徒への手紙8章28～30節を引用しました。

皆さんの経験の中で、自分にとって好ましくないと思った出来事を、
主が、後になって、益として用いてくださったことはありましたか？
それはどのような出来事でしたか？それは、どのように変化し、
どのように良い結果につながりましたか？

話し合いましょう。

「すべてはキリストにあるあなたがたのもの」という真理は、仕事、人間関係、困難といった自分の状況の見方にどのような影響を与えますか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。